

株式会社ナカノアパレル

山形県南陽市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

アパレルメーカーによる地方創生。雇用創出による地域活性化と、安心して働ける環境づくり

- 山形県南陽市への登記移転・総合施設「ナカノビレッジ」を創設し、企業内保育所の設置
- 工場発信の提案ブランド「JERSEY」、メンズの自社ブランド「WEWILL」の立ち上げ
- 「アパレル」が地域コミュニティと連携することを目指す、「ナカノビレッジ」におけるマルシェ計画

企業基本情報

所在地	山形県南陽市郡山 1-58
電話/FAX	0238-40-3331/0238-49-2345
URL	http://nakano-apparel.co.jp/
代表者	代表取締役社長 中野 憲司
設立	1986年
資本金	1,000万円
従業員数	150人



会社概要

カットソーを主体に、アパレルメーカーのOEM/ODM、及び自社ブランドを担う。中国の自社工場設立を機に、企画提案をはじめ、素材調達・開発から縫製にいたるすべての工程を一貫して請け負える生産体制を確立。国内工場として設立した山形工場は「ジャパノクオリティ」の認証を受ける。研修センター、社員寮、保育園など完備した総合施設を併設し、地域の住民が集まるコミュニティとしての役割も掲げる。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 雇用創出による地域活性化と、安心して働ける環境づくり

本社を東京から南陽市に登記移転。災害の少ない山形という危機管理面でのリスク回避に加え、地元での雇用創出により地域の活性化を目指す。I・Uターン採用も積極的に行い、多様な人材の確保に努めている。ナカノヴィレッジでは若いクリエイターの育成にも取り組む。定期的開催予定のマルシェは、地域住民が集まるコミュニティとしての役割としても期待。ベトナム・中国からの外国人従業員や、小さい子供をもつ社員が安心して働ける環境づくりを目指す。



「山形発」強みに海外拡大
地方創生へ向けた本社移転

▶▶▶ 自社ブランド立ち上げによる従来のものづくり体制からの脱却

OEM/ODMを担う企業として、メーカーの各ブランドを支えるプランニングパートナーへと成長、近年は自社ブランド（提案ブランド「JERSEY」、自社メンズブランド「WEWILL」）を立ち上げ、従来のOEM/ODMのみに依存しないものづくりを推進。工場発信のものづくりを目指し、「商品が美しく見える縫製」、「高級感を打ち出す縫製仕様」等様々な開発課題に挑戦。これまでのノウハウや背景をもとに自社ブランドのものづくりを展開している。



▶▶▶ 地方創生を実践するビジョンを有する経営者

山形発を強みに、国内のみならず海外展開も視野に入れる。また、若いクリエイターたちが社会と繋がる場となるよう、その育成にも力を入れている。それが引いては同社の戦力となり、同社の繁栄につながると考える。本社を東京から山形県南陽市に登記移転することで地域の活性化を図り、「NAKANO Village(ナカノヴィレッジ)」構想において単なるアパレルメーカーにとどまらず、地域コミュニティとしての役割を果たし、行政を巻き込んだ地方創生へと繋げることを目指す。



地域の活性化を目指す